

Kazoo Saiseikai Hospital



名称

社会福祉法人 済生会支部
埼玉県済生会加須病院

病床数

304床

開院日

2022年(令和4年)6月1日

指定病院

救命救急センター/地域医療支援病院/
災害拠点病院/第二種感染症指定医療機関/
臨床研修病院

診療科

内科	心臓血管外科
呼吸器内科	脳神経外科
消化器内科	泌尿器科
脳神経内科	耳鼻咽喉科
糖尿病・内分泌内科	眼科
腎臓内科	皮膚科
血液内科	整形外科
循環器内科	形成外科
小児科	救急科
外科	リハビリテーション科
呼吸器外科	放射線科
乳腺外科	麻酔科

社会福祉法人 済生会支部
埼玉県済生会加須病院
SAITAMA SAISEIKAI KAZO HOSPITAL

〒347-0101
埼玉県加須市上高柳1680番地

診療受付時間 [初診・再診] 月～金 8:00～11:00

休診日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12/29～1/3)
※休診日・時間外診療は、救急対応となります。

TEL 0480-70-0888(代表)

FAX 0480-70-0889(代表)



病院サイト

地域をまもる。地域をつなぐ。

埼玉県済生会
加須病院

SAITAMA SAISEIKAI KAZO HOSPITAL



社会福祉法人 済生会支部
埼玉県済生会加須病院
SAITAMA SAISEIKAI KAZO HOSPITAL

地域をまもる。 地域をつなぐ。

医療を通して地域の皆さまの健康を守り、
安心できる暮らしに貢献します。

済生会は、
1911年から医療・保健・福祉を展開する
日本最大の社会福祉法人です。

済生会は、医療によって生活困窮者を救済しようという明治天皇のお言葉（済生勅語：恵まれない人々のために施薬救療し、済生の道を弘めるように）に基づき、1911年（明治44年）に設立しました。以来今日まで、社会情勢などの変化に伴う幾多の変遷を経ながらも、済生会は「済生」の心を受け継ぎ、保健・医療・福祉の充実・発展に必要な諸事業に取り組んでいます。戦後、1951年（昭和26年）に公的医療機関の指定、1952年（昭和27年）に社会福祉法人の認可を受け、日本最大の社会福祉法人として東京に本部、40都道府県に支部を置いて活動しています。

主な施設

- 病院
- 介護老人保健施設
- 特別養護老人ホーム

院是

心

院是である“心”は、
先端医療の進歩が
一段と加速するであろう
21世紀において、
医療に従事するものにとって
失うことの許されない、
もっとも大切なものと考えます。

理念

医療現場で働く喜びを自覚し、
医療を通して
社会と地域に貢献します。

基本方針

- 病院を訪れる患者さんや、その家族の心の痛みを見逃さない、心温まる医療を提供します。
- 常に最新の医療知識と技術の修得に努め、有機的な多職種連携によるチーム医療を追求します。
- 住み慣れた地域で、いつまでも患者さんが自分らしく暮らせるよう、安全で安心な医療を継続的に提供します。
- この地域で継続的な質の高い医療を実践できる事業体となるため、絶えず経営改善に努めます。
- 患者さんを大切にするように、職員も大切にします。

院長挨拶

地域の中核病院として患者さんファーストの心温まる医療、
より安全で質の高い医療を提供し、
救急医療への貢献も目指していきます。

済生会加須病院の前身は、1989年に久喜市（旧 栗橋町）に設立された済生会栗橋病院です。そして、2022年6月に加須市へ新築移転、「済生会加須病院」として新たなスタートを切りました。同時に埼玉県より県内11か所目の救命救急センターに指定され、利根保健医療圏だけでなく隣接する県央エリアなどにおいても救急医療を担う病院です。地域の中核病院としての役割を果たしていくために、患者さんファーストで、患者さんに優しく、患者さんや家族に

心温まる医療を提供していきます。また、多職種連携のチーム医療の展開により安全で質の高い医療の提供、さらに地域の救急医療への貢献を目指していきます。当院はこれからも、医療を通して地域の皆さまの健康を守り、安心できる暮らしに貢献する病院になれるよう取り組んでまいります。

埼玉県済生会加須病院 院長

板橋 道朗

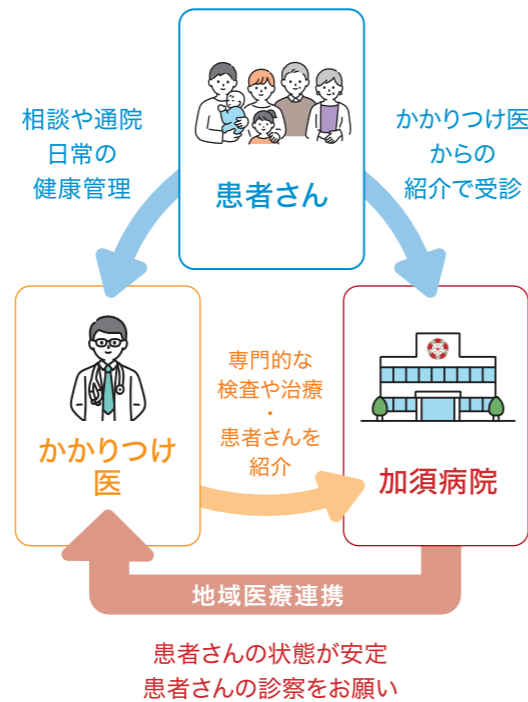


地域医療連携

地域の医療機関と協力し、
地域全体で患者さんの健康を支えていきます。

当院は、埼玉県知事から承認を受けた「地域医療支援病院」です。患者さんの身近な地域で医療が提供されることが望ましいという考えから、第一線の地域医療を担っている「かかりつけ医（地域のクリニック・診療所など）」を支援し、より専門的な治療や高度な検査、手術等を行い「地域完結型医療」の中心的役割を担っています。

当院で治療し、症状が回復された患者さんは、ご相談のうえで、地域のかかりつけ医やご希望の医療機関へご紹介させていただきます。その際には、当院での治療の経過や検査結果などを詳細に記載した紹介状をお渡しいたします。皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



かかりつけの医院・診療所の先生と病院とが連携・協力して、患者さんにとって最善となる治療にあたり、より効率的、より効果的な診療を行うことを「地域医療連携」といいます。

地域完結型医療



地域の限られた医療スタッフや医療施設などの医療資源を有効に活用するために、個々の医療機関がそれぞれで医療ニーズに対応する「病院完結型医療」ではなく、**医療機関がそれぞれの得意分野を活かし、地域全体で完結する「地域完結型医療」**が求められています。



健診センター

皆さまの健康状態のチェックや
ニーズに合った検査による健康リスクの早期発見を目指しています。

- point 01 充実した先進検査機器
- point 02 併設の加須病院がサポート
- point 03 女性専用スペース設置
- point 04 経験豊富な専任の医師がチェック

CT、MRI、内視鏡検査装置、マンモグラフィ撮影装置など充実した検査機器を備え、病気の早期発見を実現しています。万一、精密検査や治療が必要な場合でも、併設している済生会加須病院の各診療科と連携し、病気の早期発見から早期治療までをスムーズに行うことができます。

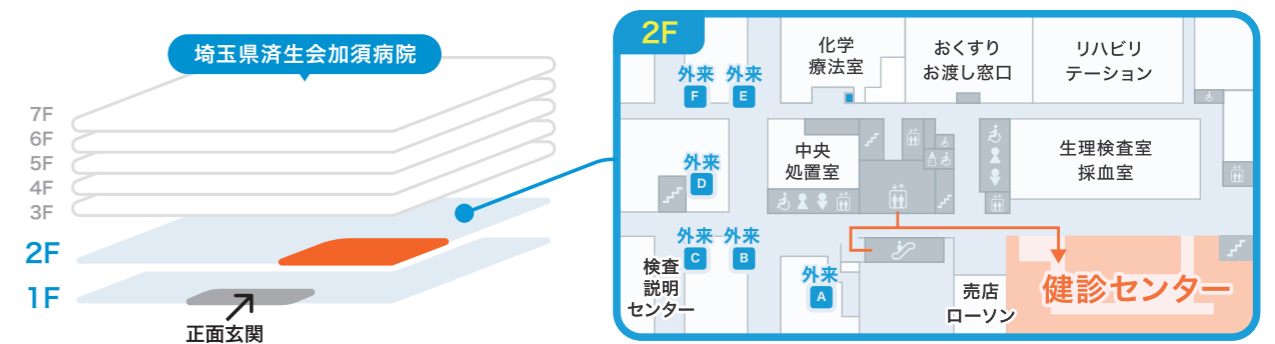
人間ドック・健康診断をご予約の方

TEL 健診センター直通 0480-70-0666 月～金 10:00-16:00

Web 右記のQRからサイトにアクセスしてご予約ください

当センターは 病院内の2階にございます。

一部の検査は、外来フロアでの検査もございますが、主に一般外来と分離した、健診センター専用フロアでの受診となっております。快適に健診を受けていただけるよう、健診の案内専門スタッフが常駐しております。



おすすめ

充実ドック (Aコース)

胸部CT、頭部MRI・MRAの画像診断に加えて、動脈硬化測定、腫瘍マーカーなどがコース内に含まれます。3大疾病の早期発見につながる、充実した検査内容となっています。医師面談では血液検査結果などの説明があります。

- こんな方におすすめ
- 時間をかけてしっかり検査を受けたい方
 - 3大疾病の早期発見につながる検査を受けたい方
 - 50歳以上で全身を幅広くチェックしたい方

基本ドック (Bコース)

生活習慣病予防の基本を押さえたコース。短時間で効率的にご案内できます。

脳ドック (Cコース)

脳卒中などを早期に発見し、早期治療へとつなげるコース。

肺ドック (Dコース)

肺がんや肺気腫など呼吸器系の疾病の早期発見を目的としたコース。

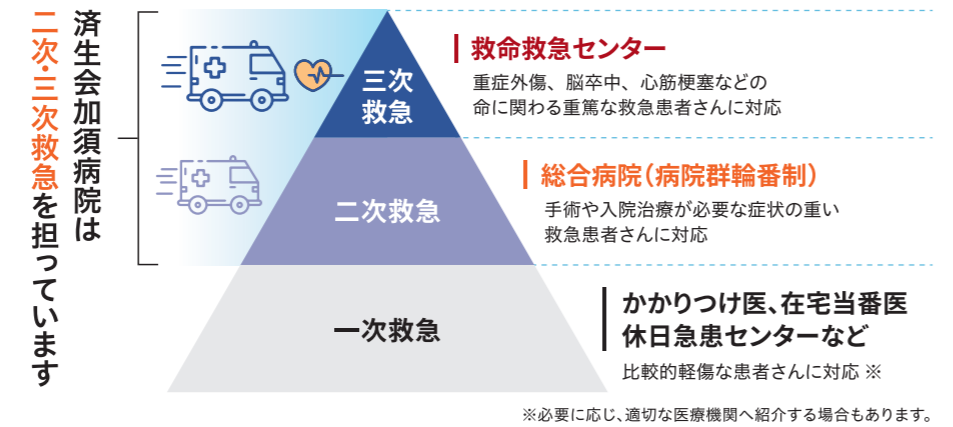
- 国民健康保険の人間ドック費用助成制度あり(加須市・羽生市・久喜市・五霞町)
- その他各種検診あり
- … 生活習慣病予防健診/定期健康診断/レディース検診

01
Features

救命救急

済生会加須病院は**二次・三次救急**を担い、
重篤患者への対応を強化し、
地域に貢献します。

当院は、2022年6月の移転と同時に「救命救急センター」に指定されました。県内で11か所目、利根保健医療圏ではじめての救命救急センターです。入院を要する二次救急をはじめ、急性心筋梗塞や脳卒中・重度の外傷などの三次救急を専門としており、救急医療の最後の砦として救急患者を24時間体制で受け入れます。



- 24時間 365日 対応します
- 近隣市町村からの要請にも積極的に応需
- 常駐型救急ワークステーション 消防との連携強化

救命救急センターの設備

センター内には、救急外来やCT、血管撮影室があり、超急性期の重症例に対応する集中治療室(ICU)8床、病状の安定後に総合医療を提供するための高度治療室(HCU)12床を備えています。



ワークステーション型ドクターカー

消防署が所有する救急車(高規格救急車)に必要に応じて医師・看護師が同乗することで、緊急度や重症度の高い患者さんを病院外で早期に診療開始ができます。



常駐型救急ワークステーション

埼玉東部消防組合加須分署が常駐しており、搬送の短縮により救急患者の救命率の向上につながります。地域における救急の底上げを図ってまいります。



02
Features

災害拠点病院

傷病者受入や医療救護活動などを中心に地震・津波・台風などの災害時に**災害医療支援**を行います。

当院は、地震・津波・台風などの災害発生時に災害医療支援を行う「災害拠点病院」に指定されています。大規模災害などの現場に急行する災害派遣医療チーム「DMAT」も編成しており、近隣医療機関や行政などを交えた大規模災害訓練も実施しています。また、当院は免震構造になっているため、地震に強い病院です。

災害派遣医療チーム(DMAT)

DMATは、大規模災害や多傷病者が発生した事故現場など多くのけが人の発生が予測される場合に派遣されます。現場の医療だけでなく、被災地の病院機能の維持や被災者の広域医療搬送など、専門性を活かした多岐にわたる医療的支援を行います。

免震構造

当院は、免震構造を採用した建物です。免震構造は建物のダメージなどが抑えられ、地震後も継続して医療を提供できます。

03
Features

高度医療

先進的な医療機器と医療技術で
地域医療の拠点としての
役割を果たします。

地域医療の拠点としての役割を担うために、手術支援ロボット「ダビンチ」や高性能X線撮影装置と手術室を組み合わせ「ハイブリッド手術室」を2022年6月の新築移転とともに新たに導入しました。開胸や開腹手術に比べて患者さんへの負担が少なく、安心して手術を受けていただけます。さらに、外科・心臓血管外科・脳神経外科などの医療体制も強化され、今まで以上に質の高い医療を提供することで、地域医療における役割を果たします。

手術支援ロボット「ダビンチ」

手術支援ロボット「ダビンチ」は、患者さんのからだに5-12mmの小さな穴をあけ、ロボット専用の手術器具を動かして内視鏡手術を行います。

一般的な手術に比べ…

- 患者さんの身体への負担が少ない
- 細やか・精密な手術操作が可能



一次脳卒中センター(PSC)

急性期脳卒中に24時間365日体制で対応します。地域の脳卒中急性期診療の中核を担う施設です。

- 他の医療機関からも常時患者さんを受入れ
- 療養の支援や情報提供の実施



ハイブリッド手術室

手術室に心臓血管造影の放射線透視装置(X線撮影装置)と特殊な手術用ベッドが設置されており、これまで別室で行っていた血管内治療と外科的手術を同時に行うことができます。

より安全、確実な治療に!

- 手術時間の短縮
- 入院期間の短縮
- 出血量の減少

